横尾小学校便り
みがけ心、きたえ体
横尾っ子だより
令和４年度　第２６号　R5.3.22.（水）
～かしこく　やさしく　たくましく～
文責　校長　河野正勝

第 46 回長崎市立横尾小学校
卒業証書授与式挙行

3 月 16 日（木）春の訪れが感じられる中、第 46 回卒業証書授与式を挙行することができました。

卒業生 45 名が保護者の皆様、来賓の方々、本校職員に見守られながら、横尾小学校を巣立っていきました。

文部科学省からの通知を受け、6 年生と職員は歌唱と呼びかけ以外は、マスクを着用することなく式に臨むことができました。まだ制限はあるものの、ようやくこの日がやってきたことを、誰もがうれしく思ったことでしょう。

さらに、本年度は、証書授与の前に、卒業生一人ひとりが将来に向けた夢や希望を発表する場も、3 年ぶりに設けました。一人ひとりがしっかり自分の思いを発表する姿に、その夢や希望に、心を打たれた人も多かったのではないでしょうか。その後の授与を含め、たいへん立派な卒業生の姿でした。

「別れの言葉」での卒業生、5 年生の呼びかけや式歌も胸に迫るものがありました。

ＰＴＡ会長田崎様の祝辞、保護者代表横石様の謝辞では、感動的なすばらしいお話、お言葉を頂戴し、感謝いたしております。

ご来賓の皆様には、ご多用な中に本校卒業式に参列いただきましたことにお礼申し上げます。

また、本年度は、卒業式後に行う学級活動をそのまま体育館にて学年で実施しました。

各学級における「密集」を回避するためと、教室までの往復の時間を有効に活用するためです。

本校では初めての取組でしたが、広いスペースで実施できたこと、担任全員の話を聞いていただくことができたことは、よかったと思っています。

体育館でのお別れの後は、5 年生と職員に見送られ、卒業生と保護者の方は運動場へ。

各自治会様からプレゼントしていただいたバルーン飛ばしを行いました。

卒業生の夢や希望を乗せてバルーンも飛び立ちました。